

地方創生交付金【推進交付金】【令和2年度】事業実績検証シート

豊後高田市

No	① 交付対象事業の名称 (創生プランでの分類)	② 事業の概要	③ 事業の概要(経費内容)	④ 交付金の種類	⑤ 事業費	⑥ 交付金充当額	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)		⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑩ 外部有識者からの評価	事業担当課
							指標	目標値(R3.3)	実績値(R3.3)	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由		
1	「地域で健康づくり」応援事業 (基本目標: IIひとを大事に活力創生)	行政や社協等の関係機関が、認知症予防に効果的な運動メニュー等をサロン活動の中で実践することにより、サロン活動の機会の増加と、地域ぐるみの健康づくりの機運を醸成するとともに、広く認知症予防に関する知識の普及啓発を図る。 ①専門機関(千嶋病院)へ「あたまを使った運動プログラム」の普及員となる運動推進員の養成を委託 ②認知症予防に効果のある運動以外のメニュー(口腔ケア・回想法・栄養)を専門職のいる社協に委託 ③サロン参加者の身体状況を把握するため、フレイルチェック(歩行・握力・アンケート)を実施 ④サロン内で活動した運動推進員に対する謝金及び活動に伴う傷害保険料を負担 【事業期間: 令和2年度～令和4年度】 【地域再生計画: 令和2年度～令和4年度】	①運動推進員の養成事業 45,000円 ②関係機関との連携事業 1,243,000円 ③効果の測定(フレイルチェック) 354,964円 ④定期的な運動の実施及び運動の習慣化事業 107,450円	推進	1,750,414円	875,207円	指標① 養成された運動推進員数 (事業開始前: 9人) 【R2増加分】	5人	7人	本年度の目標を達成できた 追加等更に発展させる	認知症予防については、高齢者の関心が非常に高く、運動を含めた幅広い知識や情報を落とし込む場になり得るような仕組みの構築を行う	本年度の目標を達成できた	社会福祉課	
指標②	参加地域サロン数 (事業開始前: 9サロン) 【R2増加分】	30サロン	31サロン											
指標③	地域サロンへの参加人数 (事業開始前: 100人)	360人	300人											
2	働きやすさ改革によるしごと創出事業 (基本目標: IV仕事をづくり活力創生)	最重点施策である定住人口の増加を図るため、女性や障がい者、高齢者など誰もが働きやすい環境整備を行い、新たな就業、雇用の創出を図る。 ①ITを活用した女性の雇用創出を図るため、女性雇用を促進している企業へのPR動画の作成を委託 ②通勤が困難である障がい者の送迎事業に対する広報費や運営費を補助 ③高校生対象の市内事業所見学会の開催費を補助 ④外国人が入居できるアパートの改修費用を補助 【事業期間: 令和2年度～令和4年度】 【地域再生計画: 令和2年度～令和4年度】	①ITを活用したお母さんが働きやすいしごとの創出事業 1,000,000円 ②障がい者の自立支援に向けた働きやすさ改革事業 450,000円 ③高校、短期大学、大学生の地元就職の促進事業 15,000円 ④きれいなアパート整備外国人受入環境整備事業【ハード】 4,200,000円	推進	5,665,000円	2,832,500円	指標① 子育て世代の女性の就業率 (事業開始前: 77.8%)	78.8%	83.7%	本年度の目標を達成できた 事業の継続	女性や高齢者、障がい者、高校卒業者などに対する多様な働く場を創出するため、引き続き、雇用の創出に必要な環境整備を図る。	本年度の目標を達成できた	商工観光課	
指標②	障がい者の新規事業所就職者数 (事業開始前: 0人)	0人	1人											
指標③	地元高校生の市内就職者数 (事業開始前: 13人) 【R2増加分】	1人	0人											

地方創生交付金【推進交付金】【令和2年度】事業実績検証シート

豊後高田市

No	① 交付対象事業の名称 (創生プランでの分類)	② 事業の概要	③ 事業の概要(経費内容)	④ 交付金の種類	⑤ 事業費	⑥ 交付金充当額	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)		⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑩ 外部有識者からの評価	事業担当課
							指標	目標値(R3.3)	実績値(R3.3)	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由		
3	豊後高田昭和の町リ・ブランディング事業～次代へつなぐまちづくり～ (基本目標: Ⅲひとを呼び込み活力創生)	①誕生20周年という節目の年を迎えた「豊後高田昭和の町」において、新たな人の流れを創出するため、時代と顧客のニーズに呼応した「昭和の町」ブランドの再構築を目指したビジョンとコンセプトを決定し、次の20年に向けた計画書を策定 ②昭和の町の商店街の振興と、新たな魅力を創出するため、定期的な夜市イベント(夜台市)を開催 ③「ニューレトロ」をキーワードにしたワークショップを開催し、SNSを活用した情報発信や若者への訴求に関する様々な手法を構築。また、SNS及び各広告媒体を活用した情報発信を実施 ④商店街の回遊性と魅力を高めるため、玉津商店街の街路アートペイントのリニューアルを実施 【事業期間: 令和2年度～令和4年度】 【地域再生計画: 令和2年度～令和4年度】	①昭和の町リ・ブランディング計画策定事業 2,970,000円 ②昭和の町ブランド確立イベント促進事業 527,689円 ③昭和の町プロモーション事業 1,650,000円 ④昭和の町商店街魅力向上整備事業 8,987,000円	推進	14,134,689円	7,067,344円	指標① 昭和の町年間来街者数 (事業開始前: 376,000人) 【R2増加分】	5,000人	▲225,805人	本年度の目標を達成できなかった 事業の継続	新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けたことにより非常に厳しい状況であるが、昭和の町リ・ブランディング計画を着実に実行するとともに、都市圏の若者を中心に起きているニューレトロブームを追い風に、昭和の町のブラッシュアップを行うことで、新たな価値の創造とターゲットに向けて効果的な情報発信により、アフターコロナを見据えた事業展開を図る。	本年度の目標を達成できなかった	商工観光課	
指標② 昭和ロマン蔵有料施設入館者数 (事業開始前: 53,000人) 【R2増加分】	700人	▲32,510人												
指標③ インバウンド団体ツアーの客数 (事業開始前: 10,000人) 【R2増加分】	1,000人	▲10,000人												
指標④ 昭和の町滞在時間 (事業開始前: 99.6分) 【R2増加分】	5分	▲1.2分												
4	くらしの和づくり・仕事づくり応援事業 【広域連携: 豊後高田市、大分県、中津市、日田市、佐伯市、竹田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市】 (基本目標: Ⅳ仕事をつくり活力創生)	担い手への農地集積や大規模機械による作業の効率化・低コスト化で規模拡大を促進すること、労力のかかる畦畔管理の機械導入による省力化体制作りを整備することで市全体の水田作農業の活性化を図った。 【事業期間: 平成30年度～令和2年度】 【地域再生計画: 平成28年度～令和2年度】	地域農業経営サポート機構育成事業 4,500,000円	推進	4,500,000円	4,500,000円	指標① ネットワーク化の希望を叶えた集落数(集落) 【R2増加分】	205集落(大分県全体)	集落(大分県全体)	本年度の目標を達成できた	事業の継続	今後は、主たる担い手への農地集積や大規模機械による作業の効率化・低コスト化により、規模拡大を促進することで、市全体の水田作農業の活性化を図る。また、将来独立した組織として運営できる体制づくりに努める。	本年度の目標を達成できた	農業振興課

地方創生交付金【推進交付金】【令和2年度】事業実績検証シート

豊後高田市

No	① 交付対象事業の名称 (創生プランでの分類)	② 事業の概要	③ 事業の概要(経費内容)	④ 交付金の種類	⑤ 事業費	⑥ 交付金充当額	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)		⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑩ 外部有識者からの評価	事業担当課
							指標	目標値(R3.3)	実績値(R3.3)	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由		
5	<p>パーフェクトビーチ・癒しの森を核とした里海・里山ヘルスツーリズム事業</p> <p>【「パーフェクトビーチを核とした里海ヘルスツーリズム事業(H28~H30)」の継続事業】</p> <p>(基本目標:Ⅲひとを呼び込み活力創生) (基本目標:Ⅳ仕事をつくり活力創生)</p>	<p>①安全・清潔・快適な海水浴場(パーフェクトビーチ)をコンセプトとした海辺の環境整備「パーフェクトビーチを核とした里海ヘルスツーリズム事業」の事業監修を東海大学に委託した。</p> <p>②タラソテラピー施術者養成とともに、長崎鼻新コテージでの施術を可能とする環境整備を行ったほか、モニターツアーを実施した。また、ファラフェルランチなど地元食材を活用した健康メニューの提供を開始した。</p> <p>③キャンピングトレーラーによる宿泊事業の運営やビーチの整地、ビーチ藻狩り、環境保護のためのネット設置を行った。</p> <p>④長崎鼻デジタルアートギャラリーに新たな作品を制作した。</p> <p>⑤ビーチを活用したオンラインツアーなど、コロナ禍に対応したイベントを実施した。</p> <p>⑥OTA集客と外部媒体への掲載、SNS運用をメインに対外的な情報発信を実施した。</p> <p>⑦長崎鼻デジタルアートギャラリーの作品設置工事を実施した。</p> <p>⑧宿泊用キャンピングトレーラーやバーベキューテラス等について、より付加価値を高めるための備品などを整備し、既存施設をさらに活かした誘客促進を図った。</p> <p>【事業期間:令和元年度~令和2年度】 【地域再生計画:平成28年度~令和2年度】</p>	<p>①里海里山ヘルスツーリズム事業監修等業務 840,770円</p> <p>②タラソテラピー高度化事業 1,661,641円</p> <p>③海辺の環境高度化事業 8,147,847円</p> <p>④癒しの森を活用した新たな誘客促進事業 17,820,000円</p> <p>⑤イベント開催費用 1,000,770円</p> <p>⑥情報発信事業 2,000,000円</p> <p>⑦癒しの森を活用した新たな誘客促進事業【ハード】 1,650,000円</p> <p>⑧海辺の魅力深化事業【ハード】 2,000,000円</p>	推進	39,461,065円	17,560,514円	指標① 市内の観光入込客数 (事業開始前:1,264,000人) 【R2増加分】	32,000人	▲480,059人	<p>本年度の目標を達成できなかった</p> <p>事業の継続</p>	<p>市内全体を捉えたKPIは未達成であるが、長崎鼻だけを見ると、観光入込客数及び宿泊数は過去最高を記録している。今後は、これまで整備した施設(宿泊用キャンピングトレーラーやBBQサイト、ビーチカフェ等)の適正運営を図るとともに、これまでのモデル事業を活かしたタラソテラピー事業やアクティビティ事業を推進するなど、既存施設を有効活用した効果的なソフト事業を、重点的に展開する。ヘルスツーリズムに資するソフト事業を積極的に絡めることにより、ビーチの付加価値を一層向上させ、さらなる誘客促進に取り組む。</p>	<p>本年度の目標を達成できなかった</p>	商工観光課	
指標② 市内の宿泊者数 (事業開始前:92,300人) 【R2増加分】	3,000人	▲35,517人												
指標③ 今回の事業で創出される新規雇用者数(事業開始前:4人) 【R2増加分】	2人	2人												
6	<p>外国人材の活用による明日につながる共生社会創造事業</p> <p>(基本目標:Ⅲひとを呼び込み活力創生) (基本目標:Ⅳ仕事をつくり活力創生)</p>	<p>市内誘致企業の外国人材の受入れニーズが高まっている中、有能な外国人材を受け入れることにより「市内産業の労働力不足の解消」と「観光・インバウンド需要の取込」を行い、地域経済の持続的発展と交流人口の増加を図る。</p> <p>①外国人労働者の支援やインバウンドの誘客促進を図るため、語学が堪能な外国人を雇用</p> <p>②語学教室の開催費や外国人の労働・生活相談等が受けれる環境整備に対する費用を補助</p> <p>③地域と外国人との交流促進を図るため、国際交流イベントの開催費を補助</p> <p>【事業期間:令和元年度~令和3年度】 【地域再生計画:令和元年度~令和3年度】</p>	<p>①外国人材活用事業 3,250,331円</p> <p>②受入環境整備事業 707,627円</p> <p>③国際交流促進事業 1,308,164円</p>	推進	5,266,122円	720,878円	指標① 外国人材活用により労働力不足が解消した事業者数	16社	22社	<p>本年度の目標を達成できた</p> <p>事業の継続</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、国による水際対策等の徹底により、外国人観光客や新規での外国人労働者が入国できない状態が続いている。入国規制が緩和され次第、早急に事業着手ができるようにするため、事業を継続したい。</p>	<p>本年度の目標を達成できた</p>	商工観光課	
指標② 市内外国人観光入込客数	13,800人	0人												
指標③ 日本人向け外国語教室参加者数	20人	20人												
指標④ 事業協同組合を通じた就業者数	40人	53人												